



私は切り開く
【この環境を守り愛すべき存在を愛しむ】
 「社会的弱者」の生活環境を守る仕組みづくり

私は、環境法と行政法という分野を研究しています。30歳までは企業に勤めていましたが、その後大学院に進学し、今に至ります。きっかけは、結婚し娘が生まれ彼女が知的障がい児だったことでした。私の娘のような「社会的弱者」と言われる人の子どもの生活環境を守る仕組みづくりを志すようになりました。日々変わっていく自然環境や歴史的建造物の保全も課題です。そのためお互い「社会的に果たすべき義務がある」と思い研究しています。

専門 / 環境法・行政法
 所属 / 経済学部
 経営法学科

 Kohyama Satomi
神山 智美



私は創造する
【空気力学が美しい翼をデザインする】
 次世代航空機を設計する事が夢です

空を飛んでいる航空機を見て不思議に感じることはありませんか？飛行機は何故あのような形に決まったのか？...を知りたいと思いませんか？そこに答えるための科学が空気力学です。私は空気力学を次世代航空機の設計に応用する研究をしています。研究にはコンピュータ・シミュレーションを利用しています。コンピュータ上に航空機形状を創り、精密に空気の流れを計算したり、進化した航空機形状を提案したりしています。

専門 / 航空数理工学
 所属 / 大学院理工学研究所
 (工学)

 Matsushima Kisa
松島 紀佐



私は解決したい
【認知機能を回復させ人間の生活を変える】
 百人にひとりの統合失調症の記憶と注意力を回復させる

統合失調症における注意、記憶、遂行機能などの認知機能障害は、仕事や日常生活に強く関連することがわかってきており、認知機能の改善は患者さんの生活にポジティブな効果を及ぼすことが期待されます。認知機能に直接介入する心理社会的アプローチとして認知機能改善療法をおこない、それに伴う効果として脳機能の改善をみこんでいます。ヒトの神経可塑性の解明につながると考えています。

専門 / 神経心理学
 所属 / 大学院医学薬学
 研究部 (医学) 心理学教室

 Matsui Mie
松井 三枝



私は見極める
【傷病者を救う本当の肌色】
 肌色に表れる身体状態が被災者の生死を分ける

災害時の救助活動は夜間や瓦礫の下で行われることも多く、被災者の身体状態を判断して適切な処置を行うためには、「正しく視る」ことのできる環境整備が重要です。ショック状態の皮膚は黄みがかった白色ですが、健康な状態と比べて色の変化は僅かです。演色性の悪い光源を使うと見極めることができません。現在、年齢や性別の異なる傷病者の皮膚色データベースを作成して、災害現場で有効な光源の開発に取り組んでいます。

専門 / 建築環境工学
 (光・視環境)
 所属 / 人間発達科学部
 人間環境システム学科

 Akizuki Yuki
秋月 有紀



私は探求する
【物語の中の女性が求めた新しい生き方】
 今も残る“物語本”に女性たちの生活や生き方がある

現代韓国を含む20世紀の朝鮮半島の文芸作品を専門にしています。20世紀初頭に現在のソウルを中心に出版文化が興隆し、物語や語学書、教養書等の廉価な冊子が多数出版されました。富山大学ではその原本を250冊所蔵しています。物語本では、激動する20世紀初頭の世の中を生きていく女性たちがよく登場します。いつの時代でも、物語の中の女性たちには、男性では望めないような新しい生き方を追求する使命を課されます。その過重な求めに女性たちがどのように応えて来たのか、それが今現在の研究課題です。

専門 / 近代朝鮮文学
 所属 / 人文学部
 東アジア言語文化講座

 Wada Tomomi
和田 とも美



私は挑戦する
【傷ついた神経を薬の力で蘇らせる】
 先入観を捨て、薬の効果と作用メカニズムの真実を探った

認知症や脊髄損傷など、どうやって治すのか。私は、先入観を持たずに伝統薬物の活性を丹念に調べ、これまで知られていなかった効果からメカニズムに至るまでを明らかにすることで、再び神経が機能を取り戻すような治療薬候補をいくつも見つけてきました。私にとって、薬の研究は、神経組織の未知のポテンシャルを明らかにする喜びがあり、治療薬を待ち望む人に希望を届ける挑戦です。

専門 / 神経機能学
 所属 / 和漢医学総合研究所
 神経機能学分野

 Tohda Chihiro
東田 千尋



私は解明する
【脳の働きや病気が起こるメカニズムを解く】
 遺伝子発現が解明への鍵

外部環境からの影響を受け、脳は変化します。脳を構成する神経細胞の内部では、環境情報が遺伝情報へと変換される遺伝子発現制御が起きており、それが脳のはたらきを支えています。遺伝子発現の司令塔である分子群に注目して、その役割を調べることで、脳機能発現のメカニズムにせまります。また、遺伝子変異がそれら分子群のはたらきを妨げるしくみを解明し、精神疾患や発達障害がなぜおこるのか、その病態の理解につながります。

専門 / 分子神経生物学
 所属 / 大学院医学薬学
 研究部 (薬学) 分子神経生物学研究室

 Tabuchi Akiko
田淵 明子



私は謎を解く
【腸細胞が繰り返す生死バランスの謎】
 新生制御の仕組みを明らかにする

腸の細胞は生涯に渡り絶えず死と新生を繰り返し、このバランスの破綻は炎症やガンなどの疾患をもたらす。死と新生のバランスはどのような戦略で調整され、どの異常がどのような疾患につながるのか？謎を解く鍵は、腸腔高(ちよういんか)にあります。上皮細胞の新生制御の仕組みを明らかにすることを旨として研究を行っています。

専門 / 上皮生物学
 所属 / 大学院医学薬学
 研究部 (医学) 分子医科
 薬理学講座

 Ohashi Wakana
大橋 若奈

Frontiers, Dreams, and Challenges 2016

未知に挑む女性研究者たち
in 富山大学



Initiative for Realizing Diversity
in the Research Environment

文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)

『国際型女性研究者育成プログラム』 富山大学の試み

国際型女性研究者育成プログラムを導入し、研究面でも男女共同参画の面でも国際的視野を持ち高い実力を有する女性研究者が年々増え、上位職への登用機会が高まることを目指します。さらに、彼女らが若い世代に波及効果を与えることで、次世代女性研究者の層と質が充実する仕組みを構築します。

支援事業

- ① 女性研究者の短期留学助成金
- ② 女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金
- ③ ライフイベント(出産・育児・介護等)復帰者へのスタートアップ支援
- ④ ライフイベント中(出産・育児・介護等)の女性研究者への研究サポーター制度
- ⑤ 時間外・休日保育及び病児・病後児保育利用料補助制度

1 《意識》を変える

- ◆ 国内からの講師による啓発講演会・ワークショップ・シンポジウム等の開催
- ◆ 学生が国際型女性研究者からプロフェッショナル意識を学ぶ部局縦断・横断ミーティングを実施
- ◆ ニュースレター・ポスター・冊子等の発行

2 《組織》を変える

- ◆ 優秀な女性研究者の上位職への登用が公正に行われるように、各部局の人事選考委員会に男女各1名の外部委員が参加することを学長裁量により推奨
- ◆ 女性の採用・昇任に積極的な部局へ学長裁量による支援を行うことをガバナンス改革の一環として決定
- ◆ 教員の公募に応募する女性を増やすために、募集要項に「富山大学は男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。」と記載し、HPで本学における支援事業、環境整備の積極的広報を行う

3 《環境》を変える (女性研究者に対する支援体制及び相談体制の確立)

- ◆ “介護コンシェルジュ”による研究者への相談・支援に当たる体制を構築
- ◆ “人材バンク”による研究活動の促進
- ◆ ワーク・ライフ・バランスアンケートの開催
- ◆ 夏季学童保育の開催

学長からの ………メッセージ

富山大学は、男女が社会の対等な構成員として個性と能力を発揮できる大学“Smart University”となることを宣言し、平成27年7月には「文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されました。

今回、このリーフレットに取り上げられている方々のような挑戦意欲に満ちた女性研究者の育成・増加により、本学が多様性と柔軟性を持ち、より高い活動性を発揮する組織となるように繋げて参ります。

今後も富山大学は、この事業を通して、グローバルな視野に立つ“未知に挑む女性研究者たち”を積極的に支援し、男女共同参画の推進に取り組んで参ります。

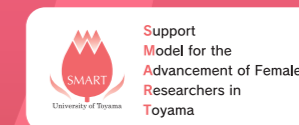


Message

富山大学長
遠藤 俊郎

女性研究者の ワクワクドキドキを紹介します

現在の日本において、研究者を取り巻く環境は厳しく冷酷です。そんな中でも私たちが、先端研究や後進の指導に情熱を保ち続けることが出来るのは、夢があるから。未知の領域に踏み込み新しい真理を解き明かすという夢！誰よりも先に自分なりの新しい世界像を示すという夢！あきらめずに夢の実現に挑戦している時間は充実して楽しいです。苦しい中でも夢を追ってワクワクドキドキを感じ楽しむことは、人類の希望に繋がります、幸福に貢献すると信じています。



発行：富山大学 男女共同参画推進室
室長：市田 路子
副室長：呉人 恵・東田 千尋
コーディネーター：南村 有輝子
事務補佐員：須藤 梨沙・竹岡 美樹・甲斐田 直
介護コンシェルジュ：平尾 陸

〒930-8555 富山県富山市五福 3190
学生支援 地域連携交流プラザ 2F
TEL: 076-445-6146
Email: smart@ctg.u-toyama.ac.jp
http://www.diversity-u-toyama.jp/



Web URL

私は形にする
フオノンが実現する
高い熱伝導率

Frontiers, Dreams, and Challenges 2016

熱エネルギーを運ぶフオノンの伝導率データを計算する

Zolotoukhina Tatiana
分子機械工学
ゾロツキヒナ タチアナ

私は形にする

[フオノンが実現する高い熱伝導率]

熱エネルギーを運ぶフオノンの伝導率データを計算する

最近の電子機器にはナノサイズのものがあ、微小な機器を制御しなければ、電化製品や検査機器が正常に動作しません。その様な機器の制御を可能にするための研究を行っています。特に熱伝達の制御に注目して、フオノンと呼ばれるものを調べています。フオノンとは振動であり、熱エネルギーを運ぶものです。フオノンは、物質により速度と寿命が異なります。電子の移動と原子の熱振動、及び相互間の強いつながりがどんな性質を持っているかなど、グラフに書いて見えない現象を可視化します。

専門 / 分子機械工学
所属 / 大学院理工学研究部 (工学)

Zolotoukhina Tatiana
ゾロツキヒナ
タチアナ

私は追求する
後遺症なき救命
それが究極の到達点

Frontiers, Dreams, and Challenges 2016

赤ちゃんを助けるために一番大切に思うこと

新生児学
牧本 優美
Makimoto Masami

私は追求する

[後遺症なき救命それが究極の到達点]

赤ちゃんを助けるために一番大切に思うこと

いつも思うことですが、親と同じ気持ち…。無事に育って欲しい。私たち新生児医療を行っているものは、永遠の課題を持っています。それが、intact survival: 後遺症なき救命です。この単語二文字がいつも重くのしかかってきます。すべての子どもに与えられる権利？でも、すべての子どもが得られるわけではないこともある。私はできるだけ妊娠を継続して早産を予防することが重要だと考えています。それが「後遺症のない救命」につながるのです。intact survivalとは何なのか？今も、この言葉の意味を求めて新生児医療を続けています。

専門 / 新生児学
所属 / 富山大学附属病院 周産母子センター

Makimoto Masami
牧本 優美

私は発見する
羊膜細胞に
病を治療する力がある

Frontiers, Dreams, and Challenges 2016

他の組織を再生させる可能性

再生医学
相古 千加
Soko Chika

私は発見する

[羊膜細胞に病を治療する力がある]

他の組織を再生させる可能性

羊膜はお母さんのおなかの中で赤ちゃんをつつむ一番内側の膜で、赤ちゃんと同じ受精卵からできてきたもので、お母さんと赤ちゃんの間においてお互いを攻撃しないような性質があります。私たちは、羊膜の細胞で病気の治療をしたり、他の組織を再生したりすることができないかと研究をしています。例えば、羊膜細胞が骨や軟骨、神経の細胞に変わったり、免疫の病気に治療効果がある可能性を示しました。

専門 / 再生医学
所属 / 大学院医学薬学系研究部 (医学)再生医学講座

Soko Chika
相古 千加

私は考える
あるのは個性の違いだけ

Frontiers, Dreams, and Challenges 2016

全ての人に個性があり、役立つ能力を持っている

発達障害学生支援
西村 優紀美
Nishimura Yukimi

私は考える

[あるのは個性の違いだけ]

全てのの人に個性があり、役立つ能力を持っている

富山大学では、障害による修学上のさまざまな困難や悩みを解消するために、アクセシビリティ・コミュニケーション支援室を設置しています。学生が日々体験している「生きにくさ」を軽減し、彼らのもつ能力、個性が開花できるような環境へのアクセスを保証します。彼らの豊かな才能が社会全体の発展に寄与するというビジョンをもとに支援を行っています。

専門 / 発達障害学生支援
所属 / 教育・学生支援機構 学生支援センター アクセシビリティ・コミュニケーション支援室
Nishimura Yukimi
西村 優紀美